

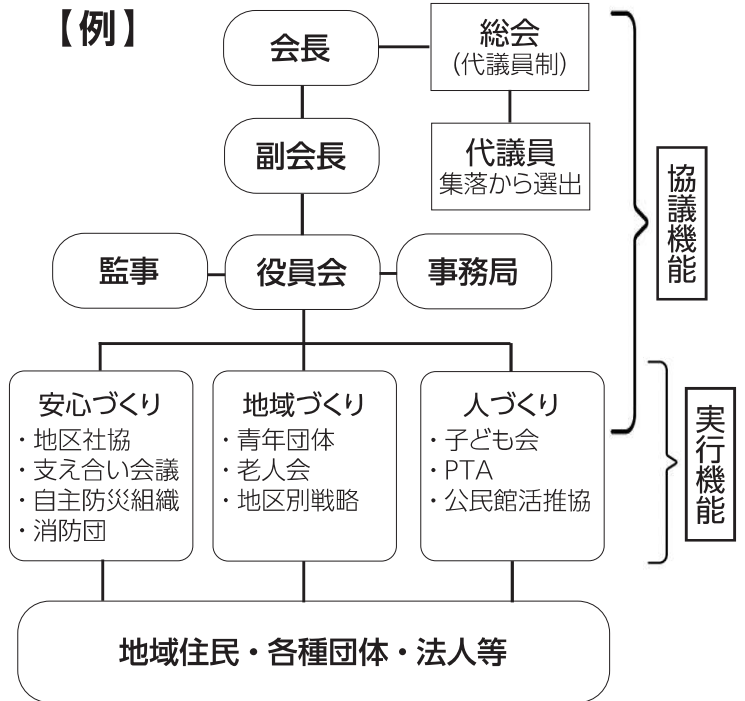
この連載では「地域コミュニティのあり方基本方針」の内容をお伝えしています。これまで、新しいコミュニティ組織の形として「地域運営組織」を作っていくことについて紹介してきました。今回は、具体的な組織の中身や活動内容について紹介します。

●「地域運営組織」の中身は？

「地域運営組織」は、地域計画に基づいて「地域の課題をどう解決していくか」を検討し、合意形成を行う「協議機能」と、実際に事業を進める「実行機能」を持ちます。

また、安定的に地域運営をしていくために、事務局体制の強化が必要です。ボランティアの範囲でできることは限りがあるため、地域運営組織には常設の事務局を設置する場合があります。

具体的な組織体制は右図のような形が考えられますが、地域の実情に応じて取り組みやすい体制にすることができます。



●活動は何をするの？

地域運営組織は、大きく3つに分けると下にあるような活動を行うことが考えられます。地区によって取り組むべき課題はさまざまなので、地区の実情に合わせた活動を行います。

安心づくり(守り)

- ・高齢者、子どもの見守り活動
- ・移動販売や配食サービス
- ・草刈り・除雪活動支援 など

地域づくり(攻め)

- ・移住者の受け入れ
- ・地域資源の掘り起こしと活用 など

人づくり(基盤)

- ・子ども活動の支援
- ・次世代の育成
- ・伝統文化の継承 など

【告知】第10回「邑南ラボフォーラム」を開催します！

島根大学教育学部の作野広和教授と邑南町による「邑南ラボ」の研究成果を報告する「邑南ラボフォーラム」を開催します。10年目の節目となる今年のテーマは「多様な主体が参画する地域づくり」です。

【日時】

令和6年2月17日(土)午後2時～4時30分(予定)

【会場】

田所公民館 大ホール

【内容】

- ・作野教授による講演
- ・島根大学留学生からの調査報告
- ・参加者との意見交換など



昨年のフォーラムの様子

※詳しくは、広報おおなん1月号と一緒に配布するチラシをご覧ください。